



かどわきっ子

感謝の心

連日ミラノ・コルティナオリンピックの様子が放送されています。日本人選手の姿に一喜一憂されている方も多いのではないのでしょうか。

オリンピックに限らず、選手のインタビューを聞いていると、必ずと言っていいほど「〇〇に感謝したい。」という声を聞きます。

今回派遣された日本選手団は、選手だけでも121名です。インタビューを受けることなく、帰国している方もいることでしょう。しかし、その方々もきっと「〇〇に感謝したい。」という思いをお持ちに違いありません。

アスリートの方々が口にする「感謝」とは、一抹の不安をかき消すだけの「行動・努力」を積み重ねた先にあるものだと思います。「やるだけのことはやった。」という達成感や満足感。だから、素直に「ありがとう。」という言葉が出て、敗れたとしても勝者を称える行動ができるのでしょう。

2月、3月は、新しいことにチャレンジしたり区切りを迎えたりする時期です。アスリートの方々のそれとは違いますが、それぞれの立場で、身近なあの人に「ありがとう。」と感謝の気持ちを伝えたいですね。

みなさんは、誰に伝えますか。

合言葉「ひまわり」

先日、不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました。火災や地震と違い、相手はどう行動するかによって対応が変わってくるため、非常に難しい訓練です。

避難後は、元警察官の方のお話を聞きました。その中で、「危険な場所」を合言葉で教えてくださいました。

- ㊦ 一人だけになる場所
- ㊧ 周りから見えにくい場所
- ㊨ 分かれ道や脇道、裏道
- ㊩ 利用されていない道、家、空き地

お子さんと一緒に、自宅周辺を確認してみてください。

ちょっとブレイク

先日、有家方面から島原に向かって運転していたときの事です。布津町の斎場付近の赤信号で止まりました。見ると、男子高校生がバスから降りて横断しています。日常の光景です。しかし、その次が違いました。

横断を終えたその高校生は、右の車列にも左の車列にも「ありがとうございました。」と深々とお辞儀をしたのです。びっくりしました。そして、感動しました。信号のある横断歩道、青信号で渡るのは当然のことです。でも、その高校生は、自分のために止まってくださった、急いでいるかもしれないドライバーさんに、感謝の気持ちを伝えました。

横断したあとに、お辞儀をして感謝の気持ちを伝える。保育園や幼稚園、小学校で学ぶことです。高校生は、お辞儀という行動だけでなく、止まってくださるのは当たり前ではなくありがたいことなのだと思えたのでしょ

う。「ありがたい」は、漢字で書くと「有り難い」です。その字のまま「有ることが難しい」、当たり前ではないのだから、感謝をする。

朝の立哨指導のとき、止まってくださるドライバーさんに、きちんと感謝の気持ちを伝えていないかもしれないと反省した出来事でした。

「高校生のお兄さん、ありがとう！」

出産、おめでとう！

12月末から産前休暇を取っている中村真子先生が、先日無事に出産を終えられました。母子ともに健康で、元気な男の子だそうです。おめでとうございます！このあと、産後休暇・育児休暇を取る予定です。

今年度は、山口祐子先生、中村真子先生と、お祝い続きの大野木場小学校でした。お子様の健やかな成長をお祈りしています。